

## 知的財産事例

### メモリー株式会社

# 『とんがったスタイル』で世界へ羽ばたくブランドへ 人生の相棒となるペットの健康を考えたオーガニックフード

#### 事業内容

1984年創業

ビジネスソリューション事業、ライフパートナー事業、HRソリューション事業  
ロボット&テクノロジー事業、ヘルス&ビューティー事業

#### 知的財産権と内容

商標第5593384号	とんがったスタイル
商標第5593385号	トンガリスト
商標第5708176号	Plaiaden
商標第5708177号	プレイヤーデン
意匠第1599854号	ブルトッブシート

他 商標権24件

(2025年11月現在)

ACTIVITIES & ACQUISITION IS INTELLECTUAL DATA



代表取締役社長 CEO 中村 憲広さん

#### 自宅の一角を利用した「メモリー商店」からスタート 近年は独自ブランドも立ち上げ、世界的に展開

当社は1984年、中村社長の父が創業。当初は測量および行政書士事務所を営む傍ら、自宅ガレージの一角を利用して日用品や文房具を販売する「メモリー商店」としてスタートした。その後、小売業のオンライン化の流れを受け、オフィス機器やITソリューション事業に移行。中村社長の代になってからは、建築士の資格も活かしたDX・AX対応のオフィスリノベーションや、ペットとの共生をテーマとした新しいライフスタイルの提案なども行っている。また、2013年からはライフパートナー事業の一環として、独自のペットフードブランド『プレイヤーデン』を展開。中村社長自身が愛犬家なこともあり、オーガニック食材を中心とした高品質なペットフードを自ら作りたい、との想いから生み出された。パッケージにもこだわり、ヨーロッパの伝統色やアラベスク模様などを取り入れることで、芸術品のような印象を醸し出している。その高級感も相まって、近年では複数のラグジュアリーホテルでも販売されるなど、順調に知名度を向上。世界中にブランド価値を広めるべく、戦略的に運用を進めている。

#### 商標を“戦略”として積極的に取得 地元東浦町でのネーミングライツにも繋がった

独自商品やブランドのプロモーション・保護を行うにあたり中村社長が意識しているのが、商標による知財

戦略である。具体的には、徹底したブランディングによって他社と差別化を図り、競合が存在しない領域でビジネスを展開するという「ブルーオーシャン戦略・ランチェスター戦略」を軸とする上で、商品やサービスの付加価値を高めるために注目したのが商標だった。元々建築士としての経験から、著作権や意匠等の知財の概念は何となく頭にあったそうだ。現在は国内28件の商標に加え、海外でも40件以上の商標を取得している当社だが、中でも代表的なのが『とんがったスタイル』と『トンガリスト』である。これは当社の各事業所にモニュメントとして写真が使用されているマッターホルンのように、限られた人々しか到達できない先鋭的な独自性や、価値創造を目指そうという意味合いが込められている。また、社名と組み合わせイメージが繋がるよう工夫もされており、地元東浦町からの要請でネーミングライツにも参画。2021年10月には『とんがったスタイル歩道橋』、2025年4月には『メモリー とんがったスタイル 文化センター』が誕生し、パッと人目を惹く名称に仕上がった。

#### 商標をアドバンテージに 組織づくりにも力を入れる

ペットフード業界は特に新規参入が難しいと言われる中で「商標は真剣に事業を継続する意思や信頼性の証として非常に役立った」と中村社長は語る。また、商標と組み合わせるブランドのコンセプトやストーリー

性を綿密かつ深くまで考え抜いて構築しているため、模倣品は「似て非なるもの」でしかなく、影響が少なく済んでいるという。今後はさらに独自性を高めるべく、作り上げてきた商品や事業を土台としてブランド・商品を国内外に展開していくほか、「組織づくり」にも力を入れていく方針だ。2022年からは海外の日本人留学生を対象とした採用活動に力を入れ、ボストン等で求人フォーラムに出展。既に海外人材も複数採用しており、事業のグローバル化を推進中である。さらに、自社オフィスを“見せるラボ”として活用するなど、働く環境やワークスタイルでも先進的なアップデートを行っている。

### 知財取得・活用における苦悩



以前は自ら手探りで申請に関する準備を行っていたが、国際商標の出願手続きを弁理士へ依頼したことをきっかけに、これまで国内で取得してきた商標が「想定の使用範囲で権利を押さえられていない」と判明したことが

あった。その際は、サポートを受け無事に追加申請等で対応できたといい、この経験から、各知財における「適切な区分の登録」の重要性を知るとともに、客観的な判断力を養うことができた。結果として費用対効果を意識した出願計画を立てられるようになり、知財戦略の効率も飛躍しているという。

### 知財取得を目指す経営者へのメッセージ



「知財は自分たちが一生懸命考えてきたことや、アイデアを振り絞ったオリジナルのものを、唯一無二の価値として後世に伝える手段」と中村社長は話す。「ブランド価値や信頼性を高める上でも、保護や活用に取り組むのは非常に理にかなっていると思う」と続けた。また、「“継続すること”も商いの基本だと考えている。取得には費用がかかるが、長期的に見れば価値ある投資に繋がることが多い。当社としても、今後も積極的に活用を進めていきたい」と併せて語った。



社名を体現するロゴも商標登録済み。ネーミングライツのデザインにも活用



世界観はもちろん、七面鳥やノロジカなどの原料にも興味を惹かれる『プレイヤーデン』



### 知的財産活用のポイント

#### 「商いは飽きずにやること」 人材育成にも丁寧な時間をかける

中村社長は当社の企業文化を伝える上で、「“とんがったスタイル”を実現するためには、地道にコツコツと継続してやり続ける力が必要」と話す。実際に『プレイヤーデン』の海外製造を始める際には候補地となるヨーロッパ各国を当てもなく訪ね

た結果、3年弱の時間をかけて同じ想いの生産者と出逢い、オーガニック原料の調達や製造能力などの条件にも合致するドイツの工場に辿り着いたという。また、新入社員には「メモリーフレッシュャーズキャンプ」という独自の研修体制により、1年間で420時間もの教育時間を確保。社長自ら丁寧な指導を実施し、人時生産性を高めている。個性の創出と堅実な姿勢の両輪により、適切な知財戦略や事業・人材の成長に繋がった。

## COMPANY DATA

取材：2025年11月

企業名：メモリー株式会社 所在地：愛知県知多郡東浦町森岡上半之木54-1 電話番号：0562-83-8249

URL：<https://www.memoly.com/> 創業：1984年 資本金：1000万円 従業員：50名

